心肺蘇生法の流れ

平塚市消防本部・消防署

傷病者を発見
① 呼びかけ

② 大声で叫び応援を呼ぶ
③ 119 番通報（心停止の確認方法や胸骨圧迫の指示や助言を受けよう）
AED の手配

④ 呼吸をみる（10 秒以内）

普段どおりの呼吸あり
・気道確保
・応援、救急隊を待つ
・回復体位を考慮する

※ 回復体位

呼吸なし
・普段通りの呼吸ではない
（しゃくりあげるような途切れ途切れの呼吸）
・普段通りの呼吸かわからない

⑤ 胸骨圧迫
・強く（約 5 cmしっかり圧迫・小児は胸の厚さの約 1/3）
・速く（100～120 回/分）※乳児は指 2 本で胸の厚さの 1/3
・絶え間なく
⑥ 人工呼吸
・人工呼吸の技術や意思があれば実施する
⑦ 心肺蘇生
・胸骨圧迫 30 回と人工呼吸 2 回を繰り返す

⑧ AED 到着
⑨ 電源を入れる（フタを開ける）
※モードの確認
⑩ 電極パッドを貼る

※パッドを貼るときの注意点
・ 胸が濡れている場合は、ふき取る
・ 心臓ペースメーカーが埋め込まれている場合は、そこを避けてパッドを貼る
・パッドを貼る位置に貼り薬がある時ははがしてパッドを貼る

⑪ 心電図の解析
電気ショックは必要か？

繰り返し

必要あり

⑫ 電気ショック 1 回
その後ただちに胸骨圧迫から
心肺蘇生を再開

必要なし

繰り返し

ただちに胸骨圧迫から
心肺蘇生を再開

※ 救急隊に引き継ぐまで、または傷病者に呼吸や目的のある仕草が認められるまで心肺蘇生を続ける